

8.総合計画中期見直しに係る諮問・答申

■諮問書

富4企画発第42号
令和4年5月25日

富士吉田市総合計画審議会
会長 渡辺 和彦 様

富士吉田市長 堀内 茂

第6次富士吉田市総合計画中期見直しについて（諮問）

第6次富士吉田市総合計画は、基本理念を日本一の富士山とともにあることを誇りとし、課題に立ち向かい、それを克服し、豊かさや幸せを実感できる活力あるまちの創造に取り組む姿勢として「富嶽共創」と掲げ、平成29年度に策定されました。

計画策定後5年目をむかえ、市を取り巻く社会経済環境は新型コロナウイルス感染症の流行により変化の局面を迎えており、収束後に予見される市民の生活意識やニーズ、行動様式の大きな変化を見据え、とるべき施策について検討することが必要となっております。

それらを踏まえたうえで本総合計画・基本計画の後期5年間について必要な見直しを行うことにいたしました。

見直しにあたり、富士吉田市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を賜りたく、諮問いたします。

■答申書

令和5年1月20日

富士吉田市長 堀内 茂 様

富士吉田市総合計画審議会
会長 渡辺 和彦

第6次富士吉田市総合計画中期見直しについて（答申）

令和4年5月25日付け富4企画発第42号で諮問のありました第6次富士吉田市総合計画中期見直しについて、富士吉田市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき慎重に審議した結果、下記の意見を付して答申します。

なお、今回の計画見直しに当たり、当初計画策定時に想定した、人口流出や少子高齢化の中での活力の維持、広域的な求心性確保、防災の強化や暮らしやすい環境づくりなどは、見直し時点においても変わらず重要なものであることから、引き続き、市民・事業者・行政がそれぞれ自らの役割を自覚するとともに、自らの責任においてその役割を実践するほか、新型コロナウイルス感染症がもたらした新たな課題に対しては、柔軟に取り組を進め、第6次富士吉田市総合計画で定めた将来都市像「富士の恵みと幸せを紡いでまちを織る活力創造都市富士吉田」の実現に向けて、着実に推進されるよう併せて付言いたします。